

保証書

この製品は、厳密な品質管理および検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず本保証書を提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。

※印欄に記入がない場合は、無効となりますので、お買い上げ時に必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	RT-421DX	
保証期間	※ お買い上げ年月日	1年間
	平成 年 月 日から	
※ お客様	住所 〒 電話	様
	氏名	
※ 販売店	店名	®
	住所 〒 電話	

本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。



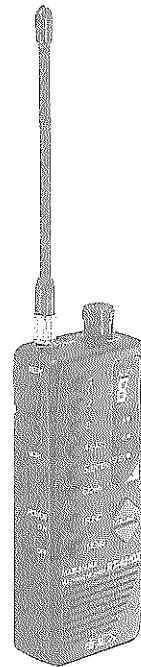
〒232横浜市内南区白妙町4丁目43番地4

電話： ■商品についてのお問い合わせは
マルハマサービス TEL.054(626)2098

MARUHAMA
UHF/FMマルチバンドレシーバー

RT-421DX

取扱説明書



RT-421DXをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元において都度ご参照ください。

目次

	ページ
1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	6
3. 本機の有する機能と特長	7
4. ご使用になる前に	8
5. 各部の名称とはたらき	9
6. 受信エリア	10
7. 使用方法	11
1. エリアをシークして聞く	11
2. マニュアル(手動)選局	12
3. ダイレクト受信	12
4. プライオリティ受信	14
5. メモリ登録	15
6. 秘話通信(スクランブル)の解説	16
8. 盗聴電波の受信	17
9. ファンクションボタン等の機能	18
1. ファンクションボタンを使用した機能	18
2. おもしろ機能	19
3. その他の機能	20
10. 故障とお考えになる前に	21
11. 主な仕様	22

1. 安全についてのお願いとご注意

安全についてのお願い

本機を安全にご使用いただくには正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが不可欠です。本書では、最初に、もしお守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある事項を“警告”として掲げています。次いで、もしお守りいただかないと使用者が、けがをしたり、製品の損傷や故障につながるおそれのある事項を“注意”として掲げています。また、“法的規制”、“機能上の制約”についても説明しています。

本書では“警告”と“注意”に関し、マークを付与して注意を喚起しています。それらの使用区分は次のとおりです。なお、各マークの外枠の中の小マークは具体的な内容を示します。



：警告、注意(特定しない“警告”と“注意”を示します。)



：禁止(“警告”と“注意”の内、してはいけないことを示します。)



：強制(“警告”と“注意”の内、しなければならないことを示します。)

本機をご使用になる前にこれらの内容をよくお読みになり、十分理解の上操作してください。“警告”や“注意”は本機を本書に規定する目的で使用する場合のみを想定しています。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外の方法でご使用になったことによって発生した事故などについて、弊社は一切の責任を負いません。





なお、本書を紛失、汚損された場合は切手400円分を同封の上弊社宛ご請求ください。

安全についてのご注意


警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)




使用場所、使用環境

-  ■ 自動車、自転車など乗り物を運転中に操作しないでください。乗り物の運転中に本機を操作することは、交通事故の原因になりますので絶対に避けてください。
-  ■ 人混みの中では使用しないでください。アンテナが目などに当たり、けがの原因になります。
-  ■ 本機に水がかかる可能性のある場所で使用しないでください。風呂場では使用しないでください。また、雨天時、海岸、水辺での使用時には水がかからないよう十分注意してください。水がかかった場合はすぐに拭き取ってください。また、万一内部に水が入った場合は直ちに本機の電源を切り、ACアダプターを使用中の場合にはコンセントから抜いてください。そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。
-  ■ 雷が鳴り始めたら本機の使用を中断してください。雷鳴時に本機に触れますと感電の原因になります。



分解、改造の禁止

-  ■ キャビネットは絶対にあけないでください。本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因になります。

電源、電源コードの取扱い

-  ■ 定格以外の電圧で使用しないでください。(ACアダプター使用時) 定格以外の電圧を加えますと異常に発熱し、火災や感電などの原因になります。
-  ■ 外部電源を使用する場合は必ず付属の弊社純正品(ACアダプターまたはシガープラグ)を使用してください。他社製アダプターを使用しますと故障の原因になるのみならず、異常に発熱し、火災の原因になります。また、本機同様、ACアダプターおよびシガープラグの分解や改造は避けてください。
-  ■ 電源コードを傷つけたり、傷んだ電源コードを使用しないでください。電源コードが傷んだ場合は販売店から新品を購入してください。そのまま使用しますと火災や感電の原因になります。




異状検出時の対処

-  ■ 発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。
-  これらの異状を検出した場合には直ちに本機の電源を切り、ACアダプターを使用中の場合はコンセントから抜き使用を中止してください。そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。修理は販売店に依頼してください。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。



△ 注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)


使用環境、取扱い

-  ■ 衝撃や振動を加えないでください。
衝撃や振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■ テレビ、ラジオなどの電子機器から離れた場所でお使いください。
強い電磁波を発生する電子機器の近くでは正常に動作しない可能性があります。
-  ■ 規定範囲内の温度環境下でお使いください。
本機は-10℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外で使用しますと故障の原因となります。

ニッカド電池パックの取扱い

-  ■ ニッカド電池パックを本機に取り付ける場合は向きに注意し正しく挿入してください。
間違えて挿入しますと、ニッカド電池パックの破裂、液漏れにより、けがをしたり故障の原因になります。
-  ■ 使用済みのニッカド電池パックを普通のゴミと一緒に捨てないでください。
使用済みのニッカド電池パックは環境保全のため、地域で定められている“電池回収日”に所定の箱に入れるか、あるいは電器店の“電池回収箱”などへ入れてください。

保守

-  ■ 長時間ご使用にならない時はACアダプターをコンセントから抜いてください。
そのまま放置しますと故障の原因になります。



- ケースが汚れた場合は柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、本機の形状が変形するおそれがあります。また、お手入れの際は必ず本機の電源を切り、ACアダプターはコンセントから抜いてください。

法的規制



- 電波法を遵守してください。
電波法第五十九条により、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受し、その存在もしくは内容を第三者に漏らしたり、窃用することが禁止されています。厳重に注意してください。

機能上の制約



- 音声、雑音(ザー音)とは違う信号音を受信することがあります。
本機はアナログ通信を対象としており、デジタル通信や制御チャンネル通信、また音声反転方式以外の秘話方式を使用した通信内容を受信することはできません。その場合、雑音(ザー音)とは違う信号音を受信します。
- 内部干渉により指定帯域外の電波を受信することがあります。
- 使用場所により受信できない場合があります。
電波の遮断された建物の中、電波の届かない山中、強い電波が発射されている放送局の近辺などでは受信できない場合があります。
- 日本国内で使用してください。
本機の仕様は日本国内向けとなっています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

2. 製品の構成

お買い上げいただいたRT-421DXは次の品目から構成されています。

- 本機 1台
- マルチバンドアンテナ 1本 (付属品)
- ニッカド電池パック 1個 (本体内蔵)
- ACアダプター(AC100V用) 1個 (付属品)
- イヤホン 1個 (付属品)
- ハンドストラップ 1本 (付属品)
- 取扱説明書兼保証書(本冊子) 1冊 (付属品)

また、別売品として外部スピーカー(PS-35)があります。

3. 本機の有する機能と特長

■ 簡単操作で超高感度受信

手のひらサイズのスリムなボディに超高感度機能を集約。スイッチを入れるとすぐに自動選局を開始し、次々に電波をキャッチ。

■ 12エリアをワンタッチ受信

12エリア(2バンド×6エリア)が登録してあります。聴きたいエリアをボタンを押すだけで自由に選択。

■ 350.1 MHz(速度取締連絡波)を優先受信。

プライオリティチャンネルに350.1 MHz(速度取締連絡波)が登録してあります。どのチャンネルを受信中でもこの周波数を優先受信できます。

■ 聴きたいチャンネルのチャンネルメモリ

聴きたいチャンネルを登録できます。バンドAのエリア6に、最大20チャンネルまで登録可能。

■ 要らないチャンネルのチャンネルバスメモリ

要らないチャンネル(“ビー”音などがするチャンネル)を自動的にシークの対象から外せます。最大20チャンネルまで。

■ インターリーブ機能

自動車電話および携帯電話では6.25KHzずれたチャンネルを使っている場合があります。このずれたチャンネルも受信できます。

■ 秘話通信の解読

コードレス電話の秘話通信(音声反転方式)を解読。

■ 盗聴電波の受信

UHF帯(300MHz~400MHz)を使用した無線式盗聴器の発信電波をキャッチ。盗聴電波をキャッチするとアラーム音(“ビッビッ”)が鳴り、LEDが点滅して、受信します。

■ 便利な2電源方式

本機に内蔵のニッカド電池パック、または付属のACアダプター(家庭用AC100V電源用)のどちらでも使えます。満充電で約3時間使用可。

■ 受信チャンネルの周波数表示

現在受信中のチャンネルの周波数を表示。

■ おもしろいゲーム機能

ストップウォッチ、ルーレットゲームなど。

4. ご使用になる前に

1. 内蔵のニッカド電池を充電します。

電源スイッチが [OFF] になっていることを確認してから、付属のACアダプター（家庭用電源AC100V）を外部電源入力端子に接続します。

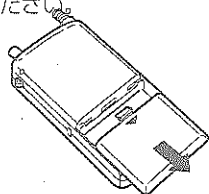
※充電時間は 約12時間。

満充電で約3時間使用できます。

ACアダプターを接続したままでも、ご使用になれます。

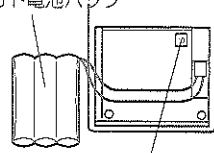
2. リセットスイッチを押して、マイコンを初期化します。

本体背面の電池蓋をスライドして外し、内部にあるリセットスイッチを細い棒で押してください。



電池蓋を矢印の方向にスライドして外す

ニッカド電池パック



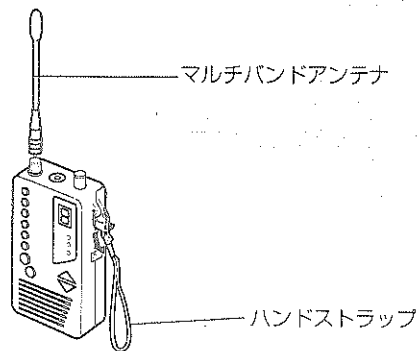
リセットスイッチ

3. アンテナの取付け

付属のマルチバンドアンテナをアンテナ端子にねじ込んで取り付けます。

4. ハンドストラップの取付け

本体のハンドストラップ取付け穴に図の様に通して取付けます。



マルチバンドアンテナ

ハンドストラップ

5. 各部の名称とはたらき

① 文字表示LED

受信エリア、チャンネルステップなどの受信モードの表示と、各動作モードの表示を行います。

② バンドLED

現在のバンドを表示します。

③ シークLED

シーク中であれば、点滅します。

④ 音量アップ/ダウンボタン

スピーカおよびイヤホンの音量スイッチ

⑤ エリア指示ボタン (11~16)

受信エリア（受信周波数範囲）の指示ボタンです。聴きたい受信エリアのボタンを押します。また、エリア指示ボタンの1回押しでバンド[A]、2回押しで、バンド[B]の指定になります。（バンドLEDが切換わります。）

⑥ ファンクションボタン (FANC)

秘話の解除、インターリーブ、リバース等を行います。

⑦ メモリボタン (MEMO)

チャンネルメモリ、パスメモリへの登録を行います。

⑧ シークボタン (SEEK)

自動選局の開始ボタンです。

⑨ モニタボタン (MONI)

- 受信中……スケルチをOFFにします。受信中の電波が弱くなって、音声途切れる場合に押しします。
- 自動選局中…自動選局が解除されて、マニュアル（手動）選局になります。その後は、ボタンを押す毎に、1ステップずつ上側のチャンネルを受信します。

⑩ 電源スイッチ

電源をON、OFFします。

⑪ シフトボリューム

秘話通信の解読時に、音声聴き易いように調整します。

⑫ イヤホンジャック

付属のイヤホン接続します。イヤホン接続するとスピーカからは音がでません。

⑬ アンテナ端子

付属のアンテナを取り付けます。

⑭ 内蔵スピーカ

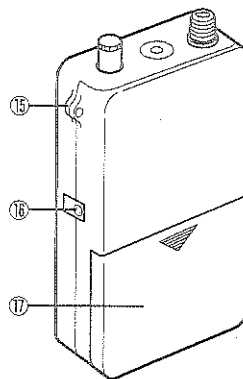
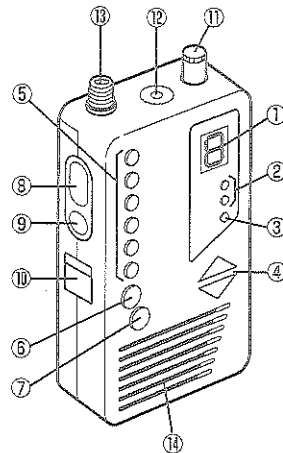
⑮ ハンドストラップ取付部
付属のハンドストラップを取り付けます。

⑯ 外部電源ジャック

付属のACアダプターを接続します。

⑰ 電池蓋

スライドして外します。内部にリセットスイッチがあります。



6. 受信エリア

本機では、よく聴くエリア、12エリア(2バンド×6エリア)がメモリに登録してあります。また、プライオリティチャンネルとして、速度取締連絡波がメモリに登録してあります。

受信エリア (受信周波数範囲) 一覧

バンド	エリア	受信周波数 (MHz)	受信エリア
A	1	870.0~885.0	NTT自動車電話、携帯電話(基地局) (*)
	2	843.0~870.0	新電々系自動車電話、携帯電話(基地局) (*)
	3	380.2~381.3	小電力コードレス電話(親機)
	4	903.0~905.0	パーソナル無線1
	5	897.0~903.0	パーソナル無線2
	6	421.6~440.4 CHメモリ	特定小電力トランシーバー メモリされた20チャンネル
B	1	430.0~440.0	アマチュア無線(UHF帯)
	2	364.8~451.5	タクシー無線
	3	357.4~415.2	道路、交通無線(道路公園、JAF、警備事業無線、JR)
	4	348.6~415.5	業務用無線(簡易無線、業務無線)
	5	372.3~470.0	防災系無線(新救急無線、靈活系無線、防災行政無線、 マスコミ無線、電力会社、ガス会社、水道局)
	6		盗聴電波(UHF帯)
プライオリティ		350.1	速度取締連絡波

— ちょっとひと言 —

- NTT自動車電話、携帯電話のチャンネルステップを12.5kHzにすることができます。
- (*)印の受信エリア(自動車電話、携帯電話)の受信チャンネルを、6.25kHzずらしてオートシークすることができます。→ **インターリーブ機能**
また基地局と移動局の切り替えは **(FUNC)** ボタンを押したあとエリア [1] ボタンを押すことにより行ないます。(「9. ファンクションボタン等の機能」を参照してください。)

7. 使用方法

1. エリア (受信周波数範囲) をシークして聴く

メモリ登録してある12エリア(2バンド×6エリア)を呼び出して、オートシークします。エリア指示ボタンを1回押すとバンドA、2回押すとバンドBが選択されます。

操作方法

(例) バンド [A] のエリア [1] にメモリ登録しているエリア(NTT自動車電話、携帯電話基地局)を呼び出して、オートシークする。

- 電源スイッチを **[ON]** にする。
電源が入ると文字表示LEDおよびバンド表示LEDが点灯し、自動選局を開始します。→ **オートシークスタート**
- 音量を調整する。
音量アップダウンボタンを押して、適度な音量にします。
- エリア指示ボタン **[1]** を1回押す。
バンド [A] のエリア [1] が呼び出されます。
文字表示LEDに [1] が表示され、バンド表示LEDの [A] が点灯します。
バンド [B] を指定する場合は、エリア指定ボタンを2回押します。
- シークを開始する。
エリア指定ボタンを押すと、最初のチャンネルから自動選局を開始します。
→ **オートシークスタート**
自動選局中は、シークLEDが点滅します。
- チャンネルを受信する。
信号の存在するチャンネルがあると、そのチャンネルで自動選局を停止し、受信状態になります。
- 受信中のチャンネルが、終了または電波が非常に弱くなって受信できない場合は、自動的にシークをスタートします。

— ちょっとひと言 —

- チャンネルを受信中に、他のチャンネルをシークしたい場合は、**(SEEK)** ボタンを1回押します。
- 受信チャンネルの電波が弱くなり、音声途切れたりする場合は、**(MONI)** ボタンを1回押します。**(MONI)** ボタンを押すと、スケルチがOFFになり、自動選局が解除されて、そのチャンネルで受信したままになります。(シークしません)

2. マニュアル（手動）選局

エリア内をマニュアル（手動）操作により、1ステップずつ受信します。

操作方法

- 1 エリア指定する。
お聴きになりたいエリアのエリア指定ボタンを押します。
- 2 **(MONI)** ボタンを1回押す。
(MONI) ボタンを押すと、自動選局が解除されて、マニュアル（手動）選局モードになります。
- 3 **(MONI)** ボタンを押す。
ボタンを押す毎に、1ステップずつ上側のチャンネルを受信します。

自動選局させたい場合は、**(SEEK)** ボタンを押します。

3. ダイレクト受信

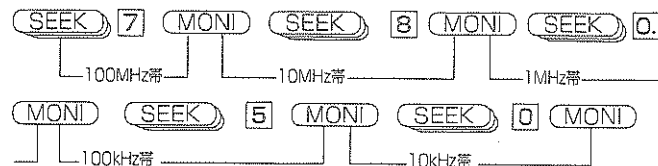
聴きたいチャンネル（周波数）をボタン操作により入力すると、入力したチャンネルをダイレクトに受信します。受信可能な範囲は、770.00~960.00MHz（ハイバンド）および347.00~470.00MHz（ローバンド）です。

操作方法

（例）780.50MHzのチャンネルをダイレクトに受信する。

- 1 **(FUNC)** ボタンを押す。
文字表示LEDに **[F]** が表示され点滅します。
- 2 **(MEMO)** ボタンを押す。
文字表示LEDに100MHz帯の数字（3、4、7、8、9、のいずれか）が表示されて点滅し、ダイレクト受信モードになります。

- 3 周波数 **[780.50]** を入力する。
(SEEK) ボタンと **(MONI)** ボタンを押して、100MHz帯から1桁ずつ周波数を入力します。
(SEEK) ボタンを押すと数字が変わり、**(MONI)** ボタンを押すと、次の桁に移動します。
[780.50] を入力する場合は、



の順に操作します。

最後の桁（10kHz帯）を入力して **(MONI)** ボタンを押すと、100MHz帯に戻り、100MHz帯に対応する数値が点滅します。

- 4 入力したチャンネル（周波数）の確認をする。
(MONI) ボタンを押して、100MHz帯から順番に、1桁ずつ周波数を表示します。
- 5 **(ENTER)** ボタンを押します。
ボタンを押すと、入力したチャンネル（周波数）で受信待ち状態になります。入力したチャンネルがハイバンドの場合は **[H]**、ローバンドの場合は **[L]** が文字表示LEDに表示されます。

ちょっとひと言

- ダイレクト受信をすると、エリア指定の範囲がなくなり、ハイバンド（770.00~960.00MHz）または、ローバンド（347.00~470.00MHz）での受信ができます。

4. プライオリティ受信

速度取締連絡波 (350.10MHz) の受信

他のチャンネルを受信中でも、プライオリティチャンネルの検索をおこない、信号があれば優先受信します。プライオリティチャンネルには350.10MHz (速度取締連絡波) が登録されています。

① 他のチャンネルを受信しながら、プライオリティチャンネルを受信する場合

操作方法

- 1 **SEEK** ボタンを押し続ける。
 - 2 電源スイッチを **ON** にする。
- SEEK** ボタンを押ししたまま
電源スイッチ **ON**

電源が入ると、プライオリティチャンネルの信号検出を、3秒間隔で開始します。信号シーク中は、文字表示LEDに **P** が表示されます。

- 3 プライオリティチャンネルに信号があれば、文字表示LEDに **P** が表示され、受信状態になります。
- 4 プライオリティチャンネルの信号が消えると、受信前の状態に戻ります。
- 5 プライオリティ受信を解除する場合は、電源スイッチを **OFF** にします。

ちょっとひと言

- プライオリティチャンネルの信号シーク中は、受信中の音声は3秒間隔で途切れますが、これは故障ではありません。

② プライオリティチャンネルのみ受信する場合

操作方法

- 1 **MONI** ボタンを押し続ける。
 - 2 電源スイッチを **ON** にする。
- MONI** ボタンを押ししたまま
電源 **ON**

電源が入ると、文字表示LEDに **P** が表示され、プライオリティチャンネルの受信待ち状態になります。

- 3 プライオリティチャンネルに信号があれば、文字表示LEDで **P** が点滅し、アラーム音が鳴って、プライオリティチャンネルに受信したことをお知らせします。
- 4 プライオリティ受信を解除する場合は、電源スイッチを **OFF** にします。

5. メモリ登録

聴きたいチャンネルを登録するためのチャンネルメモリと、制御チャンネルなど受信に不要なチャンネルをパスするためのチャンネルパスメモリを実装しています。

① チャンネルメモリ

受信中のチャンネルをメモリーバンク (バンド **A** のエリア **6**) に登録します。最大20チャンネルまで登録できます。

操作方法

- 1 チャンネルを受信中に **MEMO** ボタンを押す。
エリア表示インジケータが点滅します。
- 2 **6/OWN** ボタンを押す。
ブザー音が鳴り、文字表示LEDに **E** が表示されます。

チャンネルメモリに登録終了

ちょっとひと言

- 聴きたいチャンネル(周波数)をメモリ登録する場合は、聴きたいチャンネルをダイレクト受信(P12、ダイレクト受信を参照)してから、チャンネルメモリをおこなってください。

② チャンネルパスメモリ

受信に不要なチャンネルをパスメモリに登録しておくと、オートシーク (自動選局) 中に不要なチャンネルをパスします。最大20チャンネルまで登録できます。

操作方法

- 1 不要なチャンネルを受信中に **MEMO** ボタンを押す。
文字表示LEDが点滅します。
- 2 **4/PASS** ボタンを押す。
ブザー音が鳴り、文字表示LEDに **P** が表示されます。

パスメモリに登録終了

ちょっとひと言

- 登録した内容を消去する場合は、電池ケース内部にあるリセットボタンを押してください。チャンネルメモリおよびチャンネルパスメモリの内容をすべて消去します。

6. 秘話通信 (スクランブル) の解説

コードレス電話の盗聴防止用秘話通信機能 (スクランブル機能) には、主に音声反転方式が使用されています。秘話機能がかかった通信を受信した場合、そのままでは音声として聞くことはできません。本機は、コードレス電話の音声反転方式の秘話通信に対して、解読機能を内蔵しています。

操作方法

秘話機能 (スクランブル) がかった電波を受信した場合、**(FUNC)** ボタンを2回押します。

- ① **(FUNC)** ボタンを押す。
文字表示LEDで **[F]** が点滅します。
- ② もう一度 **(FUNC)** ボタンを押す。
秘話通信機能を解読します。(音声反転します。)
- ③ シフトボリューム (**SHIFT**) を調整する。
音声が聞き取りやすい位置に、シフトボリュームを合わせます。

ちょっとひと言

- 秘話解読機能は、受信中のチャンネルのみ有効です。オートシークなどで受信チャンネルが変わった場合は、秘話解読機能が解除されます。

ご注意

- 秘話通信がかかっていないチャンネルを受信中に、秘話解読機能を操作した場合、音声反転した状態 (秘話機能がかかった状態) になります。元の状態に戻す場合は、**(FUNC)** ボタンを2回押してください。秘話解読機能が解除されて、秘話解読前の音声に戻ります。
- 本機は、音声反転方式以外の秘話通信を解読することはできません。
- 自動車電話や携帯電話の秘話通信は解読できません。

無線式盗聴器の発信周波数には、特定の周波数帯が使用されています。

本機は無線式盗聴器によく使用されているUHF帯 (300MHz~400MHz) の35チャンネルを、バンド **[E]** のエリア **[6]** にメモリ登録済みです。

盗聴電波の検索

- ① バンド **[E]** のエリア **[6]** を呼び出してシーク (自動選局) します。
操作方法はP11を参照してください。
- ② 電波を受信すると、文字表示LEDが3秒間点滅します。→[盗聴電波の受信](#)
- ③ 電波が終了したり、受信できなくなった場合は、次の電波がでているチャンネルまで、オートシークします。


ちょっとひと言

- FM放送帯 (76MHz~90MHz) やVHF帯 (140MHz) の盗聴電波は、受信できません。
- テレビやラジオなどの輻射電波を受信することがあります。これらの機器からは離れた場所で、ご使用ください。

9. ファンクションボタン等の機能

1. ファンクションボタンを使用した機能

ファンクションボタンと各操作ボタンの組み合わせにより、次の機能が実行できます。**(FUNC)** ボタンを押したのちに各操作ボタンを押します。

- ① 基地局/移動局の切り換え (**(MONI)** ボタン→**(FUNC)** ボタン→エリア**[1]** ボタン)
NTTおよび新電々系の自動車電話、携帯電話(バンドAのエリア1および2)の受信周波数を交互に基地局と移動局を切り換えます。
まず、**(MONI)** ボタンを1回押し、自動選局を解除したのち、この操作を行なってください。
その後はエリア**[1]** ボタンを押すごとに基地局と移動局が切り換わります。シークボタンを押すと基地局/移動局の切り換えモードが解除され、基地局のシークスタートとなります。
-  **注意**
移動局に切り換えた場合には、電波が弱いのでその近くでなければ聞こえにくくなることがあります。
- ② インターリーブ (**(FUNC)** ボタン→エリア**[2]** ボタン)
NTTおよび新電々系の自動車電話、携帯電話(バンドAのエリア1および2)の受信先頭周波数を6.25KHzマイナスしたのち、12.5KHzステップでサーチします。
- ③ 受信ステップの12.5KHzへの切り換え (**(FUNC)** ボタン→エリア**[3]** ボタン)
NTTおよび新電々系の自動車電話、携帯電話(バンドAのエリア1および2)の受信ステップを12.5KHzします。再度同一操作を行うと25KHzステップになります。
- ④ オートシークの停止(受信待ち) (**(FUNC)** ボタン→エリア**[4]** ボタン)
受信中のチャンネルから電波が途絶えてもオートシーク(自動選局)しないでそのチャンネルからの受信待ちになります。
- ⑤ キートーンの停止 (**(FUNC)** ボタン→エリア**[5]** ボタン)
キーを押したときにキートーンを出さないようにします。再度同一操作を行うとリセットされます。
- ⑥ チャンネルメモリのみのシーク (**(FUNC)** ボタン→エリア**[6]** ボタン)
チャンネルメモリに登録されているチャンネル(最大20チャンネル)からのみ受信します。チャンネルメモリにデータが登録されていない場合にはバンドAのエリア6から受信します。
- ⑦ 6秒オートシーク (**(FUNC)** ボタン→**(SEEK)** ボタン)
受信中のチャンネルから6秒間受信したのち、次のシークをスタートする動作を繰り返します。
- ⑧ マニュアルダウン選局 (**(FUNC)** ボタン+ **(MONI)** ボタン: 同時押し)
(FUNC) ボタンを押した状態で **(MONI)** ボタンを押すと、そのたびに1ステップずつ下側のチャンネルを受信します。

2. おもしろ機能

電源スイッチと各操作ボタンの組み合わせにより、次の機能が実行できます。各操作ボタンを押したまま電源スイッチをONにします。

- ① ハイバンド受信 (**(FUNC)** ボタン+電源スイッチ**[ON]**)
ハイバンド(770.00MHz~960.00MHz)を全てシークします。エリア指示ボタンの一つを押すと解除されます。
- ② ローバンド受信 (**(MEMO)** ボタン+電源スイッチ**[ON]**)
ローバンド(347.00MHz~470.00MHz)を全てシークします。エリア指示ボタンの一つを押すと解除されます。
- ③ マルチバンド受信(エリア指示ボタン**[1]~[6]**のいずれか)+電源スイッチ**[ON]**)
電源ONののちエリア指示ボタンを押します。指定したエリア番号の順に受信します。最大6エリアまで受信できます。例えばエリア**[1]** ボタンを押しながら電源ONとし、続けてエリア**[3]**、**[5]** と押した場合、エリア**[1]→[3]→[5]**の順で受信します。電源スイッチOFFで解除されます。
- ④ キーボード(エリア指示ボタン**[1]+[2]**)+電源スイッチ**[ON]**)
表面に配置されている全スイッチに音階が割り当ててあります。スイッチを押すと押している間キートーンを出力します。
- ⑤ ルーレットゲーム(エリア指示ボタン**[3]+[4]**)+電源スイッチ**[ON]**)
ルーレットゲームができます。文字表示LEDに順送りで数値が表示されます。どれかエリア指示ボタンを押してルーレットを止めます。押したエリア指示番号と、ルーレット番号が一致するとキートーンが1回鳴ります。2回鳴った場合ははずれです。電源OFFで解除します。
- ⑥ ストップウォッチ(エリア指定ボタン**[5]+[6]**)+電源スイッチ**[ON]**)
10分までのストップウォッチと6分までのダウンタイマーになります。

ストップウォッチ: 電源**[ON]**でスタートします。

(SEEK) ボタンを押すとカウントを中止し、再度
(SEEK) ボタンを押すと、最初から(0秒より)カウントを開始します。

ダウンタイマー: ストップウォッチを中止したときに、エリア指示ボタンを押します。
エリア指示ボタンを押した番号で、カウントダウンを開始します。
例えば、エリア**[2]** ボタンを押した場合は、2分間のダウンタイマーになります。

電源**[OFF]**で解除します。

3. その他の機能

① 受信チャンネルの周波数表示機能

受信中のチャンネルの周波数を表示することができます。

操作方法

- ① **MEMO** ボタンを押す。
↓
文字表示LEDが点滅します。
- ② **5/ENTER** ボタンを押す。
↓
文字表示LEDに、(受信中のチャンネルの) 100MHz帯の数値が点滅表示されます。
- ③ **SEEK** ボタンを押す。
SEEK ボタンを押す毎に、数値を表示します。
例えば、**3**→**8**→**0**→**2**→**2**→**5** と表示した場合は、**380.225**MHzを受信中です。

② オートディマー機能

電池の消耗を抑えるため、5秒間各操作ボタンが押されていない場合は、文字表示LEDの表示を暗くします。

③ バッテリーローアラーム

電池が消耗した場合に、文字表示LEDとアラーム音で、お知らせします。文字表示LEDが点滅し、アラーム音（“ピッピッ”）が2秒間隔で鳴っている場合は、電池が消耗していますので、充電をしてください。

④ 音量最大、最小

FUNC ボタンを押した状態で音量アップボタンまたはダウンボタンを押すことにより、音量を最大または最小にできます。

ご使用に異状を感じた時は、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない	① 電池が消耗している →充電してください ② 電源プラグが奥まで入っていない ③ 外部電源がきていない →他の機器が使用できるかどうか、確認してください。
音がでない (受信できない)	① 電源が入っていない ② 音量レベルが低い ③ イヤホンが接続されている
変な信号音や音声がする	① 制御チャンネルや音声反転式以外の秘話通信を受信している →音声での受信はできません。 ② 秘話がかかっている通信を、秘話解読モードで受信している →秘話解読機能を解除してください。
音声途切れる	① 電波状態が良くない → MONI ボタンを押してください。 ② プライオリティ受信をしている →プライオリティ受信を解除してください。

11. 主な仕様

メモ

- 受信周波数 347.0~470.0MHz
770.0~960.0MHz
- 受信電波型式 FMナロー
- 周波数ステップ 10/12.5/25KHz
- メモリ数 チャンネルメモリ 20チャンネル
パスメモリ 20チャンネル
- 受信感度 0.2 μ V 12dB SINAD
- アンテナインピーダンス 50 Ω
- 電源電圧 DC3.6V 内蔵ニッカド電池
DC12V 外部電源
- 消費電流 50mA 無信号時
- 動作温度範囲 -10 $^{\circ}$ C~+60 $^{\circ}$ C
- 外形寸法 45 (W) \times 25 (D) \times 110 (H) mm
突起部は除く
- 重量 140g

保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、本機に保証書を添えて、お買い上げ販売店にお持ちください。
3. 次のような場合には保証期間内であっても有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、本機に改造を加えたことによる故障、またはお買い上げ店以外で修理されたことによる故障
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、公害、規定外の電源(電圧・周波数)の使用、その他天災地変などによる故障および損傷
 - (ニ) 保証書のご提示がない場合
 - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句が書き換えられている場合
4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

修理メモ